医療法人
根岸会 足利富士見台病院
〒326-0845 栃木県足利市大前町1272
TEL.0284（62）2448　FAX.0284（62）9608
http://www.negishikai.com

足利富士見台病院「患者様の権利」

1. 患者様は、個人として人格を尊重され、適切な医療を公平に受ける権利があります。（人権尊重）
2. 患者様は、診療に関して十分な説明と情報提供を受ける権利があります。（説明と同意、インフォームド・コンセント）
3. 患者様は、治療方法などを選択する権利があります。（治療の選択・同意・拒否）
4. 患者様は、個人の情報が守られる権利があります。（秘密保持）
5. 患者様は、ご自身の診療記録の開示を求める権利があります。（情報開示）
6. 患者様は、他の医療機関からの意見を求める権利があります。（セカンドオピニオン）
7. 患者様は、自己決定できるように援助を受ける権利があります。（自己決定権の保障）
8. 患者様は、当院の提供するサービスに意見を述べ、改善に参加する権利があります。（苦情や意見の申し立て）
9. 患者様は、精神保健福祉法等の法律に基づいた適正な処遇が保証される権利があります。（処遇）

□ 認知症疾患医療センター☎0284-62-7775　□ ストレスケアセンター

足利富士見台病院「理念」

*私達は、患者様のこころと体のお悩みに寄り添い、安心して治療に専念出来る環境の中で、専門医療と、こころのかよいあう看護の提供をめざします。
*患者様のご家族様を支えてまいります。
*地域の皆様とのふれあいを通して、病気の予防に努めてまいります。

上記理念に基づいて以下の行動規範をもうけております。

P-medical
私たちは常に患者様を優先します。全ては患者様（Patient）のためにある精神医療をめざすという意味でPをキーワードにおいています。

PEACE
こころ安らぐ治療空間をめざします
【place】緑多い、癒しの環境での医療を提供します
【personal】患者様ごとのご病状・ご要望にあわせた、治療・施設を提供します
【pastime】レクリエーション等、楽しみの場面を提供します

PARTNER
共に歩む医療をめざします
【pang】患者様の心の痛みを感じます
【participate】患者様を支えるご家族様のお気持ちに配慮します
【plan】治療の方針を患者様・ご家族様・他機関の皆様とともに考えます

PROTECT
患者様をまもるためにつとめます
【prejudice】病気への偏見から患者様を守るようつとめます
【privacy】患者様のプライバシーを守るようつとめます
【prevent】地域の皆様の病気予防につとめます

PRIDE
患者様によりよい医療を提供するために誇りをもってとりくみます
【professional】専門のスタッフが高水準の治療の提供に努めます
【positive】さらなる向上をめざして学び、努力し続けます
【power】元気に明るく、アットホームな治療空間の提供に努めます

診療科目

｜心療内科｜内科｜老人内科｜精神科｜

●不眠や不安に関する健康相談
●ストレスに関する健康相談（職場・家庭・育児・学校・仕事など）
●老年期（物忘れ）に関する健康相談

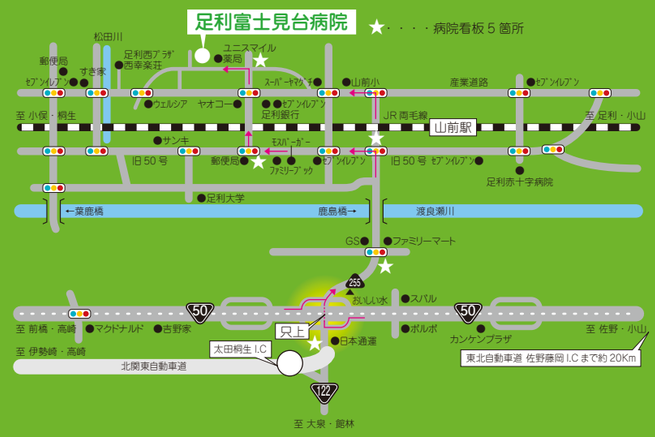
受付時間
【午前の部】8:30〜11:30
【午後の部】13:30〜15:30

診察開始時間
【午前の部】9:00〜
【午後の部】14:00〜

（休診）
土曜午後・日曜・祝日

初診の方は、予約制となっておりますので事前に電話予約をお願い致します。

ACCESS MAP



桐生方面よりお越しの方
●旧50号を足利方面へ進み、郵便局前看板を左折。
●国道50号を足利方面へ進み、ﾏｸﾄﾞﾅﾙﾄﾞ交差点を左折。葉鹿橋を渡り、3つ目の信号を右折、ドラッグウェルシア前の信号を左折。

大泉・館林方面よりお越しの方
●国道122号を足利方面へ進み、国道50号交差点を直進し、鹿島橋を渡り、T字路を左折し郵便局前看板を右折。

足利・佐野方面よりお越しの方
●旧50号を桐生方面へ進み、郵便局前看板を右折。
●国道50号を桐生方面へ進み、ボルボを左手に見て100m先側道に入り、交差点を右折。鹿島橋を渡り、T字路を左折し、郵便局前看板を右折。

北関東自動車道でお越しの方
●太田・桐生I.Cを足利方面に進み、国道50号交差点を直進し、鹿島橋を渡り、T字路を左折し郵便局前看板を右折。

みなさまが心から元気になりますように

wish

2026.9

足利富士見台病院 広報誌 VOL. 48

CONTENTS

●病院長あいさつ
●2025年度認知症疾患医療センター統計
●第16回認知症疾患医療センター研修会
●第13回看護研究発表会
●2025年度外来患者様満足度調査 結果報告

Ashikaga Fujimidai Hospital

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
認定第JC972-4号

医療法人根岸会
足利富士見台病院
〒326-0845 栃木県足利市大前町1272番地
Tel.0284（62）2448 Fax.0284（62）9608
https://www.negishikai.com





2026年度を迎えて

日本医療機能評価機構
認定第JC972-4号

新年度を迎えるにあたり院長　根岸協一郎よりご挨拶申し上げると共に昨年度の当院の振り返りと今年度の抱負等をお伝えさせていただきます。

新年度を迎えました。日頃より足利富士見台病院の運営に対してご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

まず昨年度を振り返ります。「2025年問題」というワードをご存じの方も多いかと思います。

第一次ベビーブーム（団塊の世代）に生まれた人々が75歳以上の「後期高齢者」に達することで、日本の人口構造が激変し、医療や介護などの社会保障費の急増、および労働力不足などの深刻な影響が社会全体に及ぶ問題の総称です。まさしくその2025年に病院・医療界全体を取り巻く環境の厳しさが大きく報道されました。75歳以上の後期高齢者が急増する超高齢化社会を迎え、増加する認知症患者は、単一の疾患だけでなく、複数の身体合併症をかかえるケースが一般的になっています。例えば発熱や痛み、便秘といった身体的な不調は、せん妄や興奮などの精神症状を誘発する主要な要因となることがありますし、認知機能の低下は高血圧などの既存の身体疾患の悪化を招く可能性を孕んでいます。

複雑な患者の病態の改善と患者の生活の質の維持・向上を図るために、当院では精神科のみに限らず、内科・皮膚科の専門医資格や経験等をもつ医師らを含めて複数の医師が役割を分担する共同主治医制を執っています。これにより、従来と比較して身体的な側面も包括的に管理し、多剤併用になりがちな高齢患者の薬物動態の把握や内科的リスクを踏まえた対応をよりきめ細かく行えるようになりました。精神科医療と内科医療等が連携し、心と体の両面を診る「両輪の連携」は医療の質の向上に大きな成果をもたらすことを実感しています。

他にも「両輪の連携」のもたらす効果としてあげられるのが、受診ハードルの低減です。「精神科」という専門性から、受診に抵抗のある場合は少なからず存在します。内科医のいる体制は病院全体が身体的な対応に配慮しているというメッセージとなって、受診に対する偏見や敷居を下げることにもつながります。もうひとつ、複数の医療機関を行き来する負担が減少することで、移動手段の限られる高齢患者や家族の身体的負担を減らし、治療へのアクセスが向上する効果にもつながります。

2025年度の実績として、必要な時に応える医療を提供する目的で、受診希望から受診までの時間を短縮する体制を整えました。また、日本医療機能評価機構の4回目の認定更新に向けて当院の業務を見直し、必要な改善を行いました。

その人らしさを支える意思決定支援に向けてもさまざまな見直しを行い、患者や家族とコミュニケーションをとりながら疾患について学ぶ機会もスタートしました。こうした取り組みは医師・看護師等当院のすべての職員が自発的に取り組んで実施に結びつきました。

職員にとっても働きたい場所であるように、という業務の見直しも行われております。

持続可能な医療への道筋を探ってまいりたいと考えております。

本年度の事業計画は、

①医療機能評価認定を更新する
②人材雇用・人材育成・離職防止
③地域医療に貢献する
④強い経営体質を作る

と致しました。

今後も医療の質を高め、地域の皆様に必要とされる医療を提供できるよう運営していく所存です。

本年度もよろしくお願い申し上げます。

2026年4月1日
足利富士見台病院院長
根岸協一郎



2025年度　認知症疾患医療センター統計

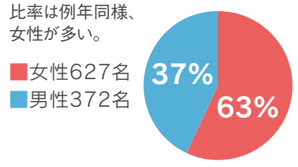
昨年度の認知症疾患医療センターの活動状況についてご報告いたします。

相談統計　総相談者数 999名

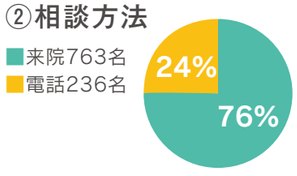
2025年4月1日～2026年3月31日まで

①性別

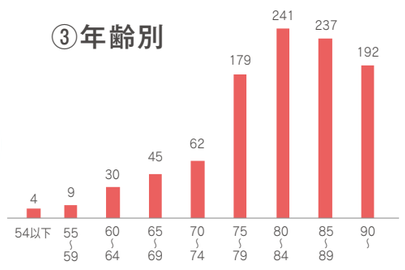
比率は例年同様、女性が多い。



②相談方法

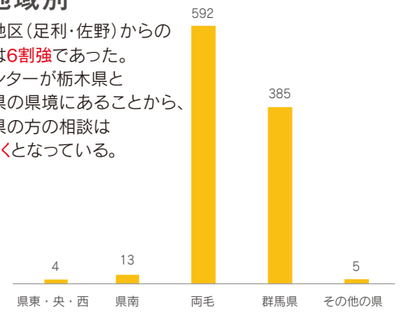


③年齢別



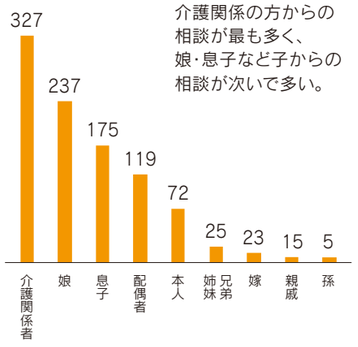
④地域別

両毛地区（足利・佐野）からの相談は6割強であった。
当センターが栃木県と群馬県の県境にあることから、群馬県の方の相談は4割近くとなっている。



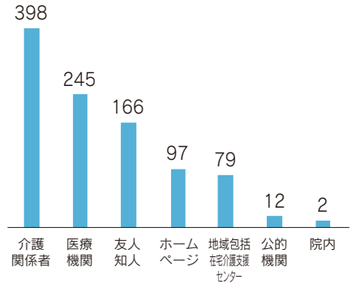
⑤相談者

介護関係の方からの相談が最も多く、娘・息子など子からの相談が次いで多い。

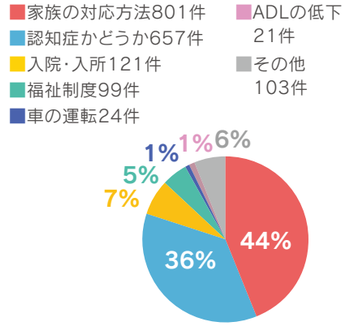


⑥紹介元

介護関係の方からの紹介が多い。

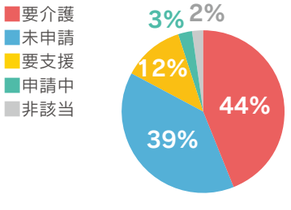


⑦相談内容



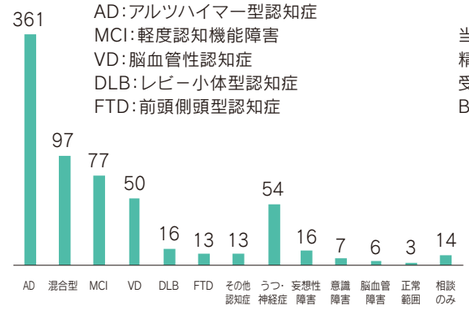
⑧介護保険申請状況

初診時に介護認定（要介護・要支援）を受けている方が全体の半数を超えている。その反面、未申請の方も4割近くいる。



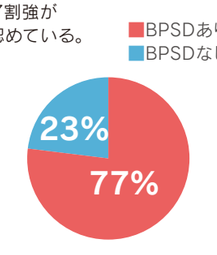
⑨診断分類

AD：アルツハイマー型認知症
MCI：軽度認知機能障害
VD：脳血管性認知症
DLB：レビー小体型認知症
FTD：前頭側頭型認知症



⑩BPSD（精神症状）の有無

当センターが精神科であることから受診者の7割強がBPSDを認めている。



第16回認知症疾患医療センター研修会を行いました

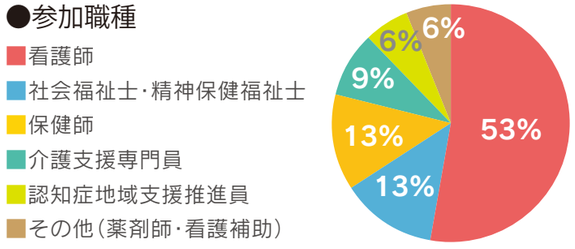
2026年3月13日、あしかがフラワーパークプラザにて、「認知症を診る・支える・つなぐ～認知症と口腔機能」のテーマで、口腔機能と認知症発症の関係性、認知症のタイプ別の食支援のポイントなどについてセンター長の根岸が講義を行いました。今後も認知症疾患医療センターとしての役割を担い、顔の見える関係を構築しながら、他機関との連携を図っていきたいと思います。



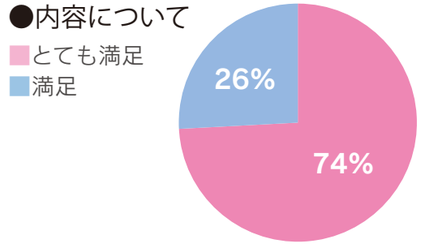


■認知症疾患医療センター　研修会アンケート結果

●参加職種



●内容について



研修会の内容について

・高齢者の方が若かった頃は、あまり歯科に行く、口腔ケアをするというのは内科に比べあまり考えていなかったように思います。認知症と口腔ケアは、とても興味があるので包括の研修でも取り入れたいです。
・認知症の概要から最新の治療まで幅広く学ぶことができ興味深かったです。
・口腔ケアの重要性にあらためて気づけました。

今後希望する内容について

・認知症の症状と対応、治療について
・認知症と運動、運動機能の維持
・実際のレカネマブ・ドナネマブなど新薬の治療状況や効果
・医療機関になかなか繋がらない困難事例への介入例など

第13回 看護研究発表会開催

2025年10月6日、看護実践の成果や看護の取り組みの発表を行いました。

【演題】

①高齢患者の口腔ケア
　～重曹とハチミツを使った舌苔除去と口臭改善を試みて～（3階病棟）
②不穏で大声が症状としてある患者様への対応
　～患者様の看護から気づいたこと～（5階病棟）
③視覚的サポートに基づいた受診支援
　～患者・家族の不安軽減を目指して～（外来）
④患者それぞれに合った紙おむつの当て方、
　使い方を見直し、使用量を減少する（4階病棟）

上記4演題から最優秀賞（院長賞）は、
外来『視覚的サポートに基づいた受診支援～患者・家族の不安軽減を目指して～』に決定しました。

受賞者のコメント



初診時は診察前に複数の検査が予想されます。診察までに数時間かかることが多く、身体的疲労、不安、戸惑いがあると思います。私たち外来看護師は、患者様やご家族、関係者の方々の負担を軽減するため、検査までの待ち時間短縮に努め、検査や所要時間の説明、診察までの待ち時間の過ごしかたを提案させていただいています。また、より良い看護を提供するため、皆様のご意見をもとに業務の見直しや改善を日々心がけています。
この研究を通して、皆様の意見をいただけたことが何よりもよい経験となりました。今後も受診して良かったと思っていただけるような病院を目指していきます。協力いただいた患者様、ご家族、関係者の皆様に心から感謝申しあげます。（斉藤）



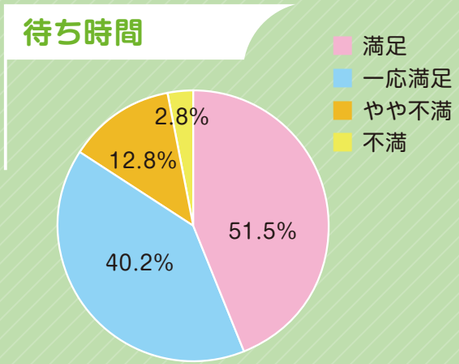
初診の患者様は、複数の検査や慣れない環境の中で、大きな不安を抱えながら受診されています。患者様やご家族が“少しでも安心して受診していただくには、どうすれば良いか”を日々の業務の中でささやかながら考えてきました。このたびの取り組みが受診される皆様のより良い支援につながれば幸いです。
また、研究を通して「安心できた」「わかりやすかった」という患者様の声は、とても嬉しく励みとなりました。その方の背景や思いに寄り添い、理解しようとする姿勢が何よりも大切であることを改めて学ぶことができ、一人ひとりにあった看護を提供できるように努めたいと思います。研究に協力いただいた患者様、ご家族、そして日頃より支えてくださる皆様に心より感謝申しあげます。（大久保）

2025年度 患者様満足度調査 結果報告

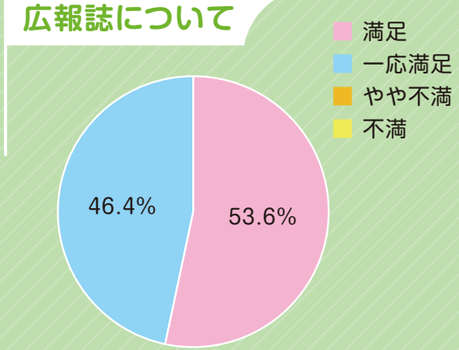
当院サービス推進委員会では、接遇向上のための外来患者様と入院患者様へアンケートを実施しております。2026年2月2日から2週間にわたりご協力いただきました。調査結果をご報告させていただきます。今後も患者様、ご家族、来院される方々に満足していただける病院を目指してまいります。アンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。

外　来

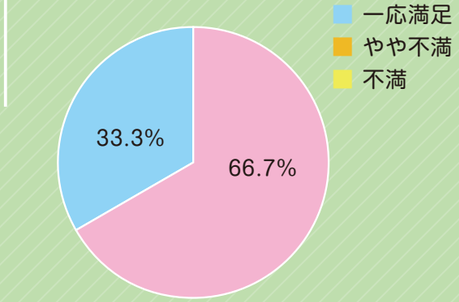
待ち時間



広報誌について

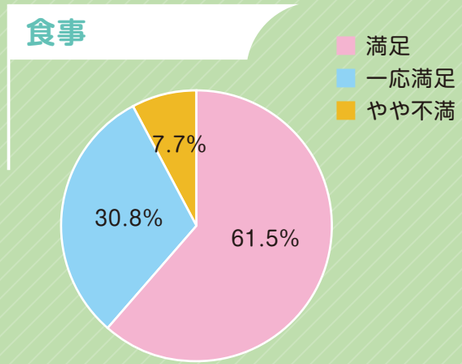


雑誌について

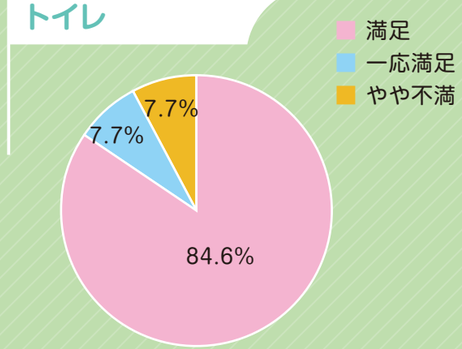


病　棟

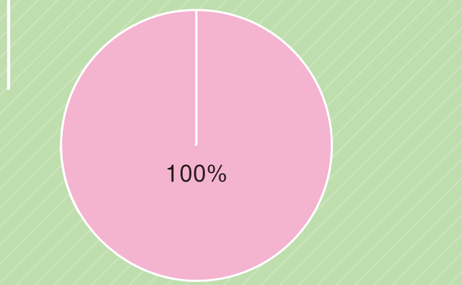
食事



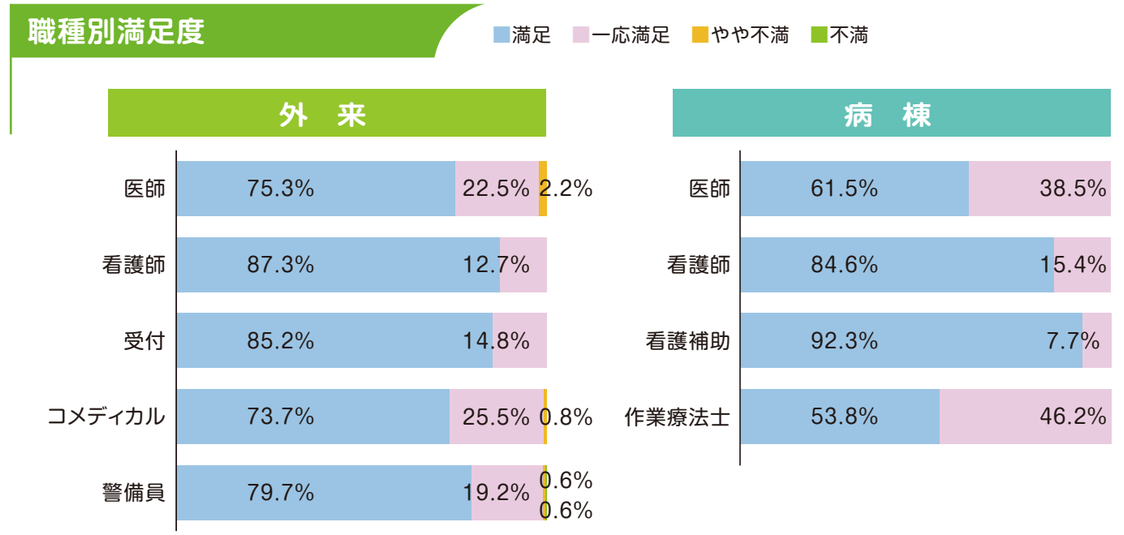
トイレ



お風呂



職種別満足度



地域連携課

地域連携課ではご紹介いただいた患者様の診療がスムーズに行われるよう、事前予約受付とカルテ作成等の準備や紹介患者様の報告書・診療情報提供書等の発送、紹介元の先生方からの患者様紹介に関するお問い合わせの対応などを行っております。

診療および家族相談は予約制となっております

■地域連携課

TEL:0284-62-2448（代表）
FAX:0284-62-9608

■電話・FAX受付時間

月曜日～土曜日
8:30～17:00

当院、ホームページより当院紹介状（診療情報提供書）がダウンロードできますので、ご利用ください。
https://www.negishikai.com/top/kikan.html

医療福祉のご相談

医療福祉に関する相談をソーシャルワーカーが受けております。
通院されている患者様とそのご家族がご利用になれます。
ご相談を希望される方は、スタッフにお声掛けいただくか、お電話にてご連絡ください。
相談は原則として、予約制とさせていただきます。
ご相談になった個人情報は厳守いたします。

編集後記

今年は地震や豪雨など大災害が多いと感じられます。熊本県では10年前も地震で大きな被害があり、今年4月に大きな節目を迎えたところでした。同県の発生確率0.9%以下といわれている場所でしたが、再び大地震が起き、電力・水道などのライフライン、交通機関、医療機関などの機能が停止。さらに猛暑ということで熱中症の危険性も高まっています。いつどこで起きてもおかしくない災害であり、不意に起こると、自分は冷静に対処できるのだろうかと思います。他の地域で起きていても自分ごとと感じ、日頃からの備え、危機管理をしていくことが本当に重要なのだと思います。（石田）